



# ポストコロナを見据えた 市民のためのまちづくり

3月22日の第1回定例市議会、池田市長は令和3年度の「市政執行方針」を、また、永田教育長は「教育行政執行方針」をそれぞれ表明しました。  
(一部を省略して掲載しています。全文は市公式ホームページでご覧いただけます。)

## 市政執行方針

### 1 人口減少問題への取組み

人口減少問題への取組みの柱であります子育て支援は、妊産婦の健診や子ども医療費助成、産後ケア事業の拡充、多様な保育サービスなど、現行サービス水準を引き続き維持するほか、令和4年度から「子ども家庭総合支援拠点」を開設するための準備に取り組みます。さらに、幼児教育無償化による保育ニーズの高まりに対応できるよう保育士不足の解消に取り組み、妊娠、出産から育児、子育て期まで切れ目のない施策を展開してまいります。

移住・定住促進対策は、北斗市の魅力や優位性を内外に発信し、北斗市が選ばれるために必要な認知度をより高めることを基本に、奨学金制度の拡充に加え、新たにUIJタ

ーンの促進による若年層の帰郷と社会動態の改善を図るため、「UIJターン奨学金償還支援事業」を実施してまいります。

また、『音楽のまち・ほくと』を基軸とした、市民総ぐるみによるシテイプロモーションを引き続き展開し、北斗市の認知度と地域イメージの向上を図ってまいります。さらに、「移住就業支援交付金」は、制度の実効性を高めるため、交付金の上限額を5万円から10万円に拡充いたします。

空き家対策は、改めて所有者の理解を深め、空き家等の適切な管理及び活用、特定空家等の除去をより一層推進するとともに、現在開設している「空き家バンク」の利用促進を図るなど、関連施策の展開と併せて、良好な生活環境を確保してまいります。

### 5 若者や女性、高齢者が チャレンジできる環境づくり

起業の促進を図るため、函館地域産業振興財団との連携のもと、引き続き創業者への支援を実施することとしているほか、市独自の利子補給や信用保証料補給交付金も、資金需要に対応できるよう、予算を確保したところであります。

子育て世代への支援は、基本的視点である子どもを生み育てる環境の充実、子育て環境の充実、子どもへの虐待防止の推進のための施策を展開してまいります。放課後児童クラブは、安定的な運営や保護者の皆さまのニーズにできる限り応えることができるよう、全てのクラブを社会福祉法人に委託し、充実を図ってまいりましたが、茂辺地区での開設のための課題について整理・調整を行い、開設に向けた関係機関との協議を継続してまいります。

また、潜在的待機児童への対策として、保育士不足の解消策や保育施設の環境整備が必要でありますので、七重浜地区から久根別地区における既存の保育所等の定員拡大が可及的速やかに実現できるよう、子育て支援センターの統廃合について、関係法人との協議を進めてまいります。

### 2 北海道新幹線効果拡大への取組み

観光振興は、豊富な地域資源を活かした集客策を講じ、四季を通じた観光客の入り込みや滞在時間の延長を図ることが重要であります。また、北海道・東北エリアなどの比較的距離をターゲットとした観光施策、夏から秋に向かっての誘客施策など、ポストコロナの視点での観光振興を図る必要があります。

新函館北斗駅前賑わいづくりですが、感染症の影響により、北海道新幹線の利用客数は大幅に減少している状況であり、観光交流センターの本館、及び別館の活性化に資する取組みは引き続き実施する必要があると見られます。地元の方にも来訪していただける魅力的な誘客策として、新函館北斗駅前通を歩行者に開



市長 池田 達雄

放し、「食」をテーマとしたイベントを実施するなどの施策の展開を図ってまいります。

### 3 力強く成長する産業の形成

農業は、引き続きスマート農業の推進を加速させるとともに、施設園芸用ハウス等の導入への助成を行うほか、乳用牛の性別別精液購入費用への助成を新たに実施します。

また、現在、文月地区で民間事業者による計画の具体化が期待されるワイン醸造所等の建設計画は、大野農業高等学校との交流や、サッポロビール株式会社が三ツ石地区に開園している「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード」との連携など、様々な相乗効果を生むものであり、行政としてできる限りの支援を行うってまいります。

林業は、災害防止などの観点からも森林整備の推進が喫緊の課題となつていきます。森林環境譲与税を活用し、未整備私有林の現況調査を実施するほか、木製の玩具を生産の記念品として贈呈してまいります。

水産業は、「育てる漁業」への助成を引き続き行うほか、不漁が続く秋サケ漁に代わる新たな魚種、養殖漁業の拡大、持続可能な漁業に向けた振興施策への絞り込みなどの検討を進め、所得の安定化を目指してまいります。

雇用対策は、感染症の影響を受け、

### 6 安心・安全な都市環境の整備

災害対策・消防力の強化としまして、いつでも、どこでも起こりうる災害に対し、人的・経済的被害を最小限にとどめる『減災』という考えを基本に、自助、共助、公助の意識の醸成を図りながら、防災体制の確立に努めてまいります。防災ラジオの導入に向けた戸別受信機の受信状況調査を実施するほか、避難所等に公衆Wi-Fi環境を整備してまいります。

消防・救急体制は、清川分団詰所の移転建替事業を実施するほか、消防指揮車を更新することとしております。

市道整備は、千代田第2号線などの8路線、橋りょう整備は、大工川橋などの4橋、河川整備は、大当別川などの3河川、また、街路事業として、引き続き上磯田園通線及び大野市街通の整備を進めてまいります。

運動公園は、スポーツや遊びを通じて、子どもから高齢者までの「みんなが愛着を持てる運動公園」を目指し、再整備に向けて始動します。主な整備構想としては、子どもたち向けには、水遊び場や裸足で遊べる芝生公園、親子で遊べる遊具の設置、親子向けには、バーベキューやピクニックが楽しめるコーナーの設置、大人向けには、健康遊具やベンチを

### 4 次代を担う子どもへの応援

全国的に雇用環境の悪化が懸念されるなか、雇用創出を図るため、企業へのトップセールスなど、積極的な企業誘致活動とともに、雇用創出のための施策を展開してまいります。

商工業は、「商店街等元気づくり事業補助金」が有効に活用されていることから、各種の需要に適切に対応するため、予算を大幅に増額してまいります。また、商工業活性化支援施策や中小企業への支援施策は、引き続き実施し、地域経済の活性化を図ってまいります。

次代を担う子どもたちは北斗市にとつての大きな財産であり、学校、家庭、地域が連携した教育を推進できる教育環境の整備に努めることが必要であると考えています。そのため、「北斗市教育大綱」に基づき、教育委員会と連携し、子どもたちの力を引き出す教育環境づくりをしっかりと進めてまいります。

教育環境対策として、償還免除の拡充や入学一時金を追加するなど、充実を図った奨学金制度は、引き続き実施するほか、国の「GIGAスクール構想」により導入した、児童生徒1人1台のタブレット端末の効果的な活用を図るための支援事業を実施してまいります。



見据えた対策が必要であります。北  
斗市における公共交通の課題解決  
を図り、持続可能な地域公共交通の  
あり方に関する計画を策定すると  
ともに、市民の日常生活の移動性を  
高め、幹線交通を補完する新たな交  
通モードとして、巡回ワゴンバス  
の実証運行のスタートに向けた検討  
を進めてまいります。

### 7 安心できる福祉・暮らしに 身近な環境の向上

「第6期北斗市障がい者福祉計  
画」、「第2期北斗市障がい児福祉計  
画」及び「第8期高齢者保健福祉計  
画・介護保険事業計画」を着実に実  
行し、それぞれの施策の充実・展開  
を図ってまいります。

市民の自主的な健康づくりに対  
しましては、各種検診や各種予防接  
種に対する費用の助成、特定健康診  
査の受診率向上対策などを引き続  
き実施するとともに、中学生を対象  
とするピロリ菌検査を、申込制から  
原則義務制とするほか、医療と介護  
の双方を必要とする高齢者の皆さ  
まが、在宅医療と介護を一体的に受  
けることができるよう、医療機関と  
介護事業所等との協働、連携を図る  
ための事業を実施してまいります。

また、多様な市民活動の促進と地  
域コミュニティの形成を図るため、  
新たに「地域応援元気づくり補助  
金」を創設し、第2期北斗市まち・

ひと・しごと創生総合戦略の4つ  
の基本目標の実現に資する市民活  
動への支援を行ってまいります。

市民の皆さま、市内事業者の皆さ  
まのくらしを守るため、今後も躊躇  
なく、国からの財政措置と財政調整  
基金を活用し、切れ目のない対策を  
講じる所存であります。

また、ワクチンの接種についても、  
庁内において接種対策チームを編  
成し、市民の皆さまが安全・安心に  
接種を受けられるよう万全を期し  
てまいります。

#### たのしみ

私は、就任当時から、市民の皆さ  
まが誇りに思える北斗市を目指し、  
SDGsの理念と、『市民目線に立  
ち、市民による市民のためのまちづ  
くり』を進めること、この二つの理  
念を忘れずに市政運営に取り組ん  
でまいります。

新年度は、私の一期目の最終年と  
なりますが、北斗市議会議員各位、  
そして、市民の皆さまのさらなるご  
支援とご協力を賜りますようお願い  
してお願ひ申し上げ、新年度に当た  
つての所信といたします。

ます。

近年、全国的な問題として不登校  
が増加傾向にあり、北斗市におきま  
してもそのような状況にあります。

不登校の原因は、様々な問題が複  
合的に介在しており、本人でも何が  
原因なのかわからない状況が見受け  
られます。特に中学校における不登  
校が多くなっており、中学校におけ  
る授業体制、授業の難度、人間関係の  
多様化、思春期における心の葛藤な  
どがあります。自尊心を高めてい  
く教育を進めていかなければなら  
ないと考えています。

学校においては、小学校の段階か  
ら学力や体力だけにとらわれること  
なく、子ども一人一人の様々な可能  
性を見つけ引き出すことに取り組ん  
でいくことが必要であると考えてい  
ます。

また、家庭環境やその子の持つて  
いる資質に違いがあることから、画  
一的な指導でなく、個に応じた指導  
も必要であり、何よりも子どもたち  
にとって学校が自分の居場所である  
という思いを持たせるために、愛情  
を注いだ教育をしていくことが最も  
大事なことだと思っております。

### 信頼される学校づくりの推進

社会が急速に変容していく中で、  
いままでの常識やモラルについても  
変化が生じてきており、個々の考え  
方や生活習慣によって、それぞれの

価値観が多岐にわたっています。

校則の問題は、様々な地域で問題  
が提起されており、社会がこのよう  
に大きく変容している中、見直しも  
必要であります。児童生徒、保護者  
の意見も取り入れたものにしていか  
なければならぬと考えています。

これからの学校運営は、学校運営  
協議会によるコミュニティスクール  
の役割が大きなものとなり、地域、家  
庭から信頼される学校づくりの推進  
に努めてまいります。

災害や事故発生時における避難や  
応急処置は、日頃から学習の中や土  
曜授業を活用して、防災意識・危機  
管理意識を高めることが今まで以上  
に必要になってくると考えており、  
迅速な情報収集や的確な判断力を養  
つていかなければなりません。

学校給食共同調理場は、子どもた  
ちへの安心・安全な給食を提供して  
いくためにも、大型調理機器の更新  
を順次進めてまいるとともに、地場  
産品を活用した新たなメニュー開発  
にも努めてまいります。

### 北斗市生涯学習社会の実現

社会教育は「生涯学習の理念」とし  
て、市民の皆さまが豊かな人生を送  
ることができるよう、その生涯にわ  
たって、あらゆる機会にあらゆる場  
所において学習することができなけ  
ればなりません。

北斗市においては、各種文化・ス

## 教育行政執行方針

### 社会で生きていく実践的な力の育成

今まで重点的に取り組んできた  
学力の向上は、家庭、学校の協力で  
より一定の成果があったことと思  
っています。

基礎学力はどんな時代において  
も必要不可欠なものであり、今後  
においても更なる取組みを進めてい  
かなければなりません。

特に、社会のグローバル化、超情  
報化時代に対応すべく英語教育、プ  
ログラミング教育の充実に力を注  
いでいかなければなりません。G I  
G A スクール構想の前倒しにより、  
1人1台のタブレット端末が整備  
されましたので、様々な形での教育  
活動が可能となることから、教職員  
の研修についても積極的に進めて  
まいります。

また、道徳教育の一環として、保  
健分野である「がん教育」を通じて  
の生命の尊さ、日常生活における健  
康の大切さを学ぶことや、北斗市手  
話言語条例の制定に基づき、手話を  
学習の中で実施することによる障  
がい者への理解や思いやりを大事  
にする心を育てていくことといた  
します。

コミュニティスクールは、地域住  
民と学校がより良い関係を図るた  
めにも土曜授業を活用し、学校運営

スポーツ団体、サークルが自主的な活  
動を進めています。北斗市のまち  
づくりの方策として音楽を中心とし  
た考え方が示されたところであり、  
吹奏楽や合唱などの音楽活動での学  
校と地域との連携や全道、全国に発  
信できるイベント開催等について検  
討を進めていかなければならないと  
考えています。

青少年の健全育成は、家庭におけ  
る生活習慣が子どもたちの成長過程  
において大きな影響をあたえること  
となることから、地域や学校、関係部  
署との連携を密にして、子どもたち  
の健全育成を図るための相談や学習  
機会の提供に努めていかなければな  
りません。

令和4年度には成人年齢が18歳に  
引き下げられることから、中学校段  
階において、成人としての役割や責  
任を感じられる教育を進めていかな  
ければならないと考えています。

図書館は、時代の変容とともに変  
わっていかなければならないと考え  
ており、新たな事業として、読書通帳  
事業を実施し、より多くの本に親し  
んでいただけるよう考えています。

文化財は、いろいろな機会や場所  
での公開や他市町との連携をした事  
業を実施してまいりたいと考えてい  
ます。

スポーツ活動は、市民の皆さまが  
生涯を通じて明るく健康に過ごして  
いただくために、スポーツの楽しみ  
や必要性を理解し、実践していくこ



教育長 永田 裕

協議会の創意工夫により子どもた  
ちの防災意識の高揚、ふるさとを愛  
する気持ちを育てていかなければ  
ならないと考えています。

特別な支援を要する子どもたちは、  
年々増加傾向にあり、インクルーシ  
ブ教育の観点からも学校間や教職  
員での連携が必要であり、北斗高等  
支援学校との連携もさらに強化し、  
特別支援教育においてもタブレット  
端末を活用した効果的な授業を  
研究してまいります。

### 豊かな心と健やかな体の育成

子どもたちが明るく楽しい学校生  
活を送るためには、授業がわかるこ  
と、友達と仲良く過ごすこと、そし  
て自ら健康であることが大事であり  
とが必要であります。

#### たのしみ

超情報化時代の到来により、教育  
における学びの考え方が大きく変わ  
ろうとしています。これは、社会が大  
きく変容していく中で当然のこと  
ではありますが、子どもたちが成長し  
ていく過程で人間同士の係わりは豊  
かな人間形成を築くためには必要不  
可欠なものであり、家庭、地域、学校  
における挨拶や話し合いをより大事  
にしていかなければならないと思  
います。

このような時代であるからこそ、  
子どもたちには人を思いやる気持ち、  
ふるさとを愛する気持ちを持つよう  
な教育を進めてまいりたいと考え  
ていますので、家庭、地域の皆さまの  
ご理解とご協力をお願い申し上げま  
す。

北斗市が今後ますます発展してい  
くためにも、これからの時代を担っ  
ていく子どもたちが健やかに育つて  
いくこと、そして市民皆さまが健康  
で生きがいを持って暮らしていくこ  
とを願い、教育の充実に誠心誠意努  
力してまいります。